ＪＲ東海労ニュース

№1850
2013年7月1日
ＪＲ東海労働組合

憲法改悪阻止！　シリーズ ②

「戦争を知る世代からの改憲反対意見広告の会」が呼びかけた新聞の意見広告の募集に、多くのＪＲ東海労組合員が参加しました。意見広告は、６月29日『朝日新聞』に掲載されました。

改憲派候補への投票はNO！
『朝日新聞』意見広告に多くの組合員が参加！

【全面広告】　朝日新聞　2013年(平成25年)6月29日　土曜日　13版　12

意見広告

日本国憲法を改悪する人に、私の一票は預けません

戦争を知る世代からの意思表明

私たちは、戦争を知る世代です。私たちは、戦争中、学業も捨てさせられ勤労動員で働かされ、或いは、親兄弟と別れ学童疎開に行かされた世代です。もう少し幼なかった人も空腹、飢え、空襲の恐ろしさははっきり記憶に残っています。家族の戦死は名誉と称えられ悲しんで泣くことさえも非国民といわれました。惨憺たる生活を耐えたのは聖戦と信じたからですが、その戦争がアジアの人々を苦しめた侵略戦争と知った時は衝撃でした。私たちは焼け跡の中で、日本国憲法を得た喜びを忘れられません。もう戦争をしないのだ、理不尽に命を奪われることはないのです。そして他国の人を不幸にすることもないのです。なんという素晴らしいことでしょう。そして、日本国憲法で、主権在民、人権、新しい民主主義の国の在り方を知りました。ことに女性にとって、両性の平等は感激でした。初めて女性が一人の人間として認められ、生き方が変わったのです。この憲法のもとで、憲法に守られながら、私たちは歩んできました。

それから67年。日本国憲法に何か不都合なことがあったでしょうか。私たちは日本国憲法を世界に誇るものと思っております。この憲法を変え、戦前に逆流し、戦争のできる国になるのはごめんです。国防軍はいりません。

私たちは次の世代に、平和ですべての人が大事にされる国を残したいと思っております。子孫に恥じない選択をしたいと思います。憲法を護り、活かす議員を選びます。

戦争を知らない世代からのメッセージ

- 「9条を変えるな！」というのが、数年前にむこうへ行った同級(同僚と同盟の切なる願いです。その想いを届けたい。(東京都 男 84)
- 日本が戦後68年戦争をせず、他国民を一人も殺さなかったことはすばらしいことだと思うようになりました。「国防軍」はいやです！　死ぬのは僕たちではないですか！「徴兵」まで迫りのではないか。戦争のできる国はいやです。(和久 21歳)
- 私の母は、「もしあの戦争に日本が勝っていたら、私たちは軍の奴隷になっていただろう」と言っておりました。私はこの憲法のもとで育ち、民主主義、人権、男女平等の意識をしっかり持ち、自らが選んだ生き方をしています。(マ)

絵：丸木 俊（平和の鳩）

賛同人 3,472人（2013年6月24日現在）　賛同者募集は1人1口、賛同者連絡グループ1

戦争を知る世代からの改憲反対意見広告の会　〒141-0021東京都品川区上大崎2-13-35KIビル803号室「憲法9条一世界へ未来へ連絡会」気付　TEL03-3442-2333　FAX03-3442-2381